紡ぐ（つむぐ）

No.１６４　令和６年１０月２８日

南教育事務所 社会教育チーム

◇児童・生徒にとって魅力ある図書館像を探ります！

第48回秋田県図書館大会が、県生涯学習センターを会場に開催されました。学校図書館の環境整備や図書活用に係る児童生徒へのサービスについて、公立図書館側からのアプローチを視点に２館から事例発表がありました。湯沢市立湯沢図書館からは、作成マニュアルを準備し、質の維持と向上を図っている児童向け及び乳幼児・保護者向けの図書館だよりが紹介されました。同館館長の「未来の読書家を育てたい」という力強いお話が印象的でした。青山学院大学の庭井准教授の基調講演は、「司書の力」をキーワードに、司書による教員支援を中心としたお話でした。司書が、授業の実際を知り、ニーズを知ることで教育課程の展開に寄与できるというものです。同准教授からは、各図書館とも工夫されたイベントの開催と関連図書の展示、読み聞かせ等を通して来館者ニーズに応えているという講評がありました。「紡ぐ」では、各図書館の魅力あふれる仕掛けづくりとプラスのアプローチを引き続き紹介して参ります。

◇美郷町読書フェスタにおじゃましました

会場となった美郷町学友館と中央ふれあい館は、読み聞かせ・人形劇・手づくりしかけ絵本教室といった企画に参加者の笑顔があふれました。オープニングでは、心に残った本の紹介コンクール表彰式が行われましたが、展示された本の紹介シートからは、読者がストーリーの中で様々な関わりを通して、我がことに置き換えて体験できていることが伝わります。受賞した小学生の「本が大好きで、毎週お母さんと図書館に来ています。」というコメントが印象に残ります。小さな読書リーダーとしての活躍が期待できそうです。

職員の皆さんの、「ふだん図書館に足を運ばない方にも楽しんで欲しい。」という願いが十分にかなった１日でした。

◇横手地域地区交流センター事業紹介

秋休み期間を利用して、黒川地区交流センター主催のまなび教室が開催され、小学生とその家族が組子細工に挑戦しました。講師を務めたのは、厚生労働省ものづくりマイスター（建具製作）の方です。細かな作業の連続ですが、完成した２枚のコースターをお互いに見せ合いながら会場は大歓声に包まれました。木のよい香りにつつまれながら心和やかな時間を過ごすことができたようです。

センター職員の方によると、市内各地区交流センター間での事業や講師に係る情報共有が、企画アイディアの立案につながる要因となっているとのことです。センター主催事業をはじめ、黒川地区の魅力をＳＮＳで発信中です。

◇秋田県庁出前講座「No.162家庭教育の充実」をご活用ください。

就学時健診の際の子育て講座に、多くの小学校より出前講座を活用いただきました。「家族を笑顔にする10のヒント（県教育委員会）」をベースに、「小学校入学に向けて」・「子育てのゴール」について、「共育（いっしょに育てる）」をキーワードに講座を組み立てております。引き続き、ＰＴＡ研修会等を含めてご活用ください。南教育事務所では、県南放課後支援者研修会を開催しておりますが、各市町村、各地区単位での放課後支援者向け研修会での講話にも対応して参りますので、社会教育チームまでご相談ください。（℡ 0182-32-1101）